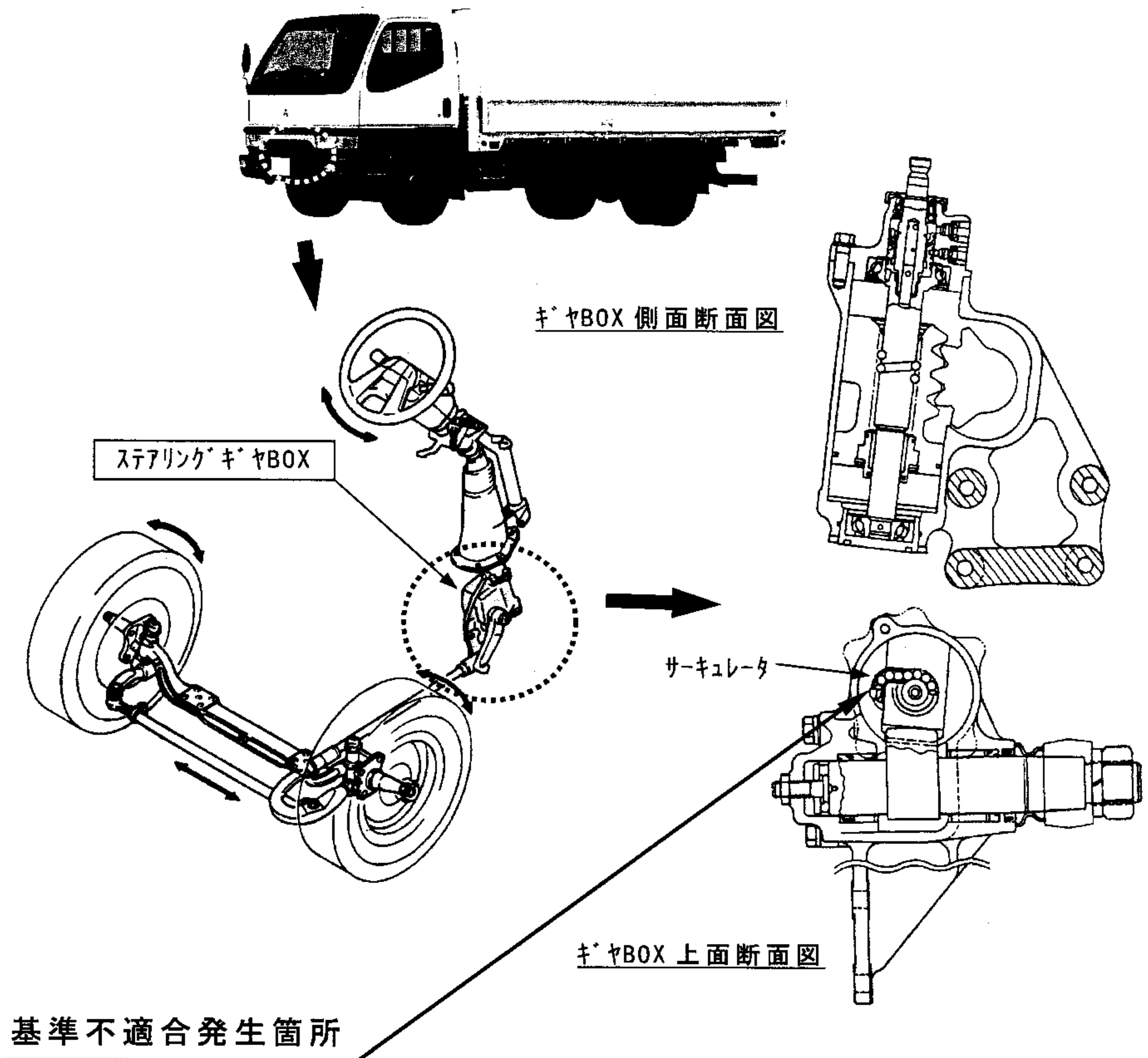


改善箇所説明図



パワーステアリングギヤボックス内部のボール循環筒（サーキュレータ）の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度が不足している。
 そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレータが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、パワーステアリングギヤボックスを対策品と交換する。なお、対策品の全数供給に時間を要するため、当面の暫定措置としてハンドル作動を確認し、引掛かり感や渋り等の異常が認められた場合は、対策品と交換し、問題の無い車両については後日対策品と交換する。

併せて、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作をしない様に、ユーザに注意を喚起する。

注：□は、交換部品を示します。

識別：作業完了車には、助手席側リヤドアピラー스트ライカ付近に「LT-06」の文字が記載されたシールを貼付ける。 暫定対策：水色、恒久対策：白色